

2025年3月17日
株式会社千總

千總 創業 470 年記念 地域貢献事業
五花街を支える「おおきに財団」へ着物を寄贈

京都の文化の発展と振興を目的に 47色 250点の色無地を製作

千總は創業 470 年を迎える 2025 年、京都の伝統文化や花街が誇る伝統伎芸の保存・継承を目指す公益財団法人京都伝統伎芸振興財団（おおきに財団）へ着物 250 点を寄贈いたします。本財団への寄贈を通じて京都でともに伝統の美と技を支えることで、地域社会へ貢献します。



2025 年に千總は創業から 470 年を迎えました。これもひとえに多くの方のご支援によるものと心より感謝申し上げます。長きにわたり文化と歩みを共にしてきたわたしたちを支えるのは、他でもない創業の地である京都の街の営みです。

この度、京都の伝統文化や花街が誇る伝統伎芸の保存・継承に努められる「おおきに財団」へ着物を寄贈いたします。本財団の、世界中の人々を惹きつけてやまない京都・日本の文化を継承し発展を図るという想いに、着物の美を現代に届ける当社も強く賛同します。

また千總の当主である 15 代目西村總左衛門（株式会社千總ホールディングス取締役会長）が長年、本財団の評議員を務めているご縁もあり、寄贈させていただく運びとなりました。この寄贈が、京都の美の文化を未来につなぐ一助となることを願っております。

寄贈品：着物（色無地 反物） 250 点
寄贈者：株式会社千總ホールディングス
寄贈先：公益財団法人京都伝統伎芸振興財団
時期：2025 年 5～6 月頃 贈呈式を実施予定

PRESS RELEASE

【着物について】

京都の人の営みの中にある着物として、芸妓さん舞妓さんが様々なシーンで着用できるよう、寄贈には色無地を選びました。

色無地は、絹に美しい色彩を表現するという、染織における重要な技術の粋とも言えます。千總のこだわりをもって、470周年にちなんで47の地色を選び、今や希少になってきた職人の手仕事で一枚一枚染めています。



引染めイメージ



伝統は古いものの継続ではなく、発展させながら受け継いできたものの蓄積であるというブランドの姿勢に基づいて、日本の伝統的な色彩を踏まえつつ、現代の京都のまちに映え、現代の女性を美しく見せる色無地として製作しました。

五花街の全ての芸妓さん舞妓さんに、それぞれご着用いただける点数をご用意しています。

【千總について】

千總は、永らく京友禅を手がけてまいりました。1555年に京都・烏丸三条で創業して以来、時代ごとの美を映しとり、技の粋を集めて多様な染織品を生み出しています。

美をひとすじに追い求め創造したきものはたくさんの人生に寄り添い、特別なひとときを華やかに彩っています。その喜びを心にとめ、受け継がれた伝統に新たな感性を吹き込み多くの方に美と感動的な体験をお届けしていきます。

本プレスリリースに関するお問合せ先
株式会社千總 pr@chiso.co.jp